

平成25年度教育研究活動報告書

氏名	市川 彰	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士	職位	講師
専門分野	日本美術史、博物館学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
学部	日本美術史 博物館資料論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館学各論 博物館実習
大学院	美術史特講（日本）
II 研究活動	
これまでの主な研究業績（5件まで）	
（1）〈論文〉若冲画に示されたもの-「動植綵絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐって-、『研究紀要』第20号、京都大学文学部美学美術史学研究室、1999	
（2）〈論文〉若冲画に示されたもの2-《初期作品》「雪梅雄鶏図」をめぐって-、京都文化博物館紀要『朱雀』第19集、2007	
（3）〈論文〉若冲の《最初期の着色画》、「雪中雄鶏図」をめぐって、「美術に関する調査研究の助成」研究報告、鹿島美術財団、2002	
（4）〈その他〉『都林泉名勝図会』に記された「名宝」、京都文化博物館紀要『朱雀』第20集、2008	
（5）〈その他〉狩野永敬筆「十二ヶ月歌意図屏風」について～平成21年度修繕報告を兼ねて～、京都文化博物館紀要『朱雀』第23集、2011	
本年度を含む過去3年間の研究業績	
（1）〈その他〉狩野永敬筆「十二ヶ月歌意図屏風」について～平成21年度修繕報告を兼ねて～、京都文化博物館紀要『朱雀』第23集、2011	
（2）〈その他〉名所図会に記された京都の「名宝」（一）-『都名所図会』巻之一-、尾道市立大学芸術文化学部紀要第13号、2014（予定）	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）18世紀京都画壇の研究	
（2）名所図会に記された京都の名宝に関する研究	
研究テーマの進捗状況	（1）に関しては、様式論の立場から改めて作品研究を行い、その成果の一部を美術史特講（日本）等で紹介した。（2）については資料収集と併行して、読解に着手し、その成果の一部を紀要に掲載予定である。